

## 底盤の断面不足

年度	1998年完成(2002年調査)
場所	東京都武蔵村山市
構造	木造在来軸組工法
階数	2階
延べ面積	100 m <sup>2</sup>
用途	一戸建ての住宅

### 瑕疵の特徴

1. 設計図では底盤厚さは150 mmとなっているが、実際には80 mmしかない。鉄筋のかぶり厚さが施行令第79条に違反。
2. 底盤が不成形。
3. 建物の出隅部に底盤がない。



### 解説

施行令第79条では、基礎の鉄筋のかぶり厚さは60 mm以上必要。基礎底盤厚さが80 mmでは、鉄筋をどこに配置しても、かぶり厚さが不足することになる。

また、底盤の型枠を設置しないでコンクリートを打設したため、底盤コンクリート断面は端部が丸まっている等の不成形で、厚さも薄い。建物出隅部では、設備管があることにより、本来あるべき底盤コンクリートがない。

参考:現行の法令では、布基礎底盤厚さは15 cm以上必要(平成12年建設省告示第1347号第1第4項一号)。